

美しい 県土づくりNEWS



2007 年

9月

岩手県県土整備部
手づくり広報誌 38号
平成 19 年 9 月 5 日発行
編集 県土整備企画室

岩手の風景

目次

- 2 世界遺産登録に向けて
～都市計画道路毛越寺線志羅山地区の完成～
- 4 災害復旧 平成 18 年発生公共土木施設災害の復旧状況
- 5 岩手県の汚水処理の状況
- 6 下水道の役割
- 8 住民参加・NPO協働 後川再生支援プロジェクト
- 10 森と湖に親しむ旬間イベント開催
- 12 森と湖ピックアップ 早池峰ダムは大にぎわい
- 13 8月10日「道の日」イベントを県内各地で開催
- 15 道の日ピックアップ 気仙歴史の道を歩いてみよう
- 17 道路愛護団体等に対する感謝状の贈呈式
- 18 道路開通情報（一般県道北上和賀線煤孫工区が部分開通）
- 19 第 30 回東北地方道路写真コンテスト入賞作品展を開催
- 20 9月22日は「いわて花巻空港スカイフェスタ 2007」
カスリン・アイオン台風60周年事業
- 21 高速道路料金割引 社会実験のお知らせ

東北地方道路写真コンテスト入賞作品から

小中学生の部で最優秀作品賞を受賞した奈良章吾さんの作品「菜の花の道でダッシュ」



9月7日（金）～9日（日）まで、アイーナ4階県民プラザ（盛岡市）で、第30回東北地方道路写真コンテスト入賞作品展を開催します。ぜひお越しください。詳しくは、P19に掲載しています。

世界遺産登録に向けて

～都市計画道路毛越寺線志羅山地区の整備～

県南広域振興局一関総合支局土木部

県土整備部都市計画課

8月27日から29日までの3日間、国際記念物遺跡会議（イコモス）の現地調査が行われました。都市計画道路毛越寺線志羅山地区（「毛越寺線」）の整備は、調査開始前の完成を目指して進められ、8月10日をもって完成しました。

【事業概要】

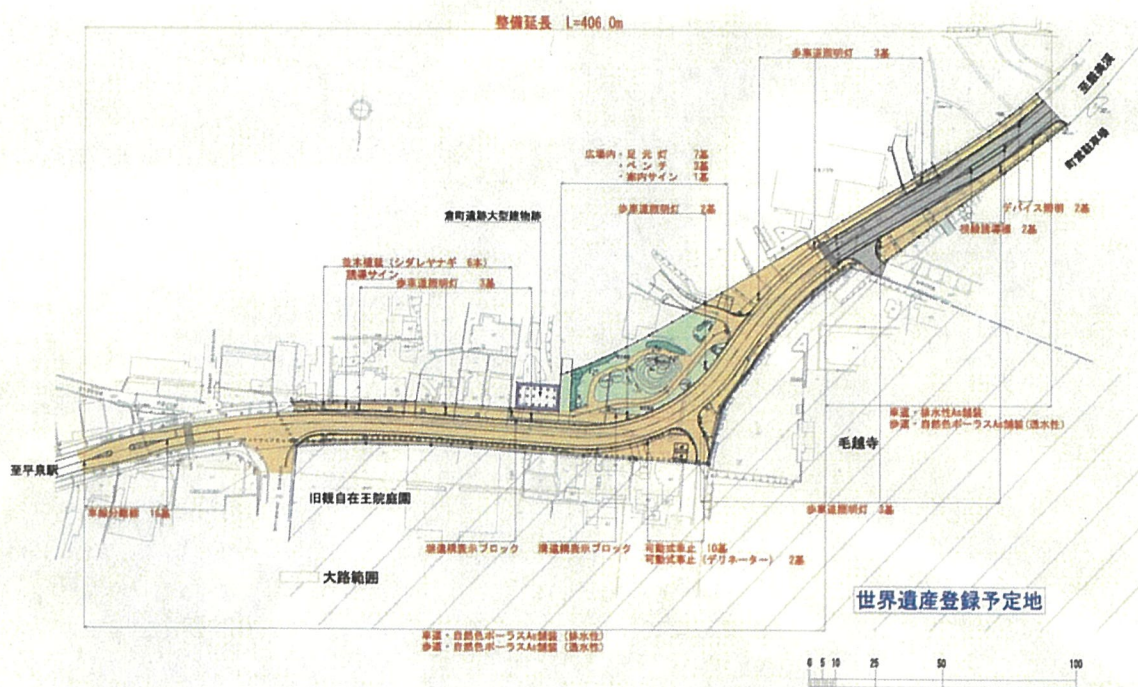
事業名：緊急地方道路整備事業（街路）、地方特定道路整備事業（街路）

整備地区：西磐井郡平泉町平泉字志羅山地内

整備延長：L=406m、W=16m（車道3m×2、歩道2.5～4.5m）

整備年度：平成8年度～19年度

事業費：2,380百万円



歴史との調和

当区間は世界遺産登録予定地に接し、街路そのものがかつての東西軸であった大路跡（おおじあと）と重複する重要な遺構であるとともに、現在でも主要地方道として重要な役割を担う路線です。

整備にあたっては、「歴史性」と「機能性」の両立を目指し、毛越寺や旧観自在王院庭園のもつ歴史的景観、金鶏山や塔山といった自然的景観への眺望にも配慮しました。

工夫

- ① 大路を表現する部分は茶系色の舗装とし、色調や材質で違いをもたせました。
- ② 観光や歴史の拠点となる広場を整備し、案内サイン・遺構表示により遺跡や周辺地区の解説を行っています。
- ③ 周囲の山々への眺望に配慮し、電線地中化を行ったほか、縁石・擁壁・植栽の種類、形状、配置に配慮しました。
- ④ 区間の両端には、車が減速するよう中央帯を設置し、「歴史」と「自動車交通」という相反する要素の調和を保つよう配慮しました。
- ⑤ 案内板・ベンチ・照明灯などは、飽きのこないシンプルなデザインとし、時間とともに味わいが増すよう、鋳物等の趣深く丈夫な素材を使用しました。

※設計やデザインは、平泉町が設置する「重要公共施設デザイン会議」に諮りながら決定

整備前（平成 15 年）



整備前（平成 15 年）

整備後（平成 19 年 8 月）



整備後（平成 19 年 8 月）



広場（平成 19 年 8 月）



南側中央帯（平成 19 年 8 月）



1 災害と復旧の状況

平成18年は、台風や大規模な低気圧等により、岩手県内各地の道路・河川等の公共土木施設に大きな被害をもたらした年でした。

1月5日の雪崩災害に始まり、年末の季節外れの豪雨災害まで、15回の異常気象により、1,915箇所、約240億円の災害が発生しました。査定決定額では全国で1番の災害規模となりました。

◆主な災害

1月以降の凍上災害、4・5月 地すべり、8月 集中豪雨による岩手山土石流、9月 台風12号、10月6日～8日 豪雨と風浪、12月26日～27日 豪雨

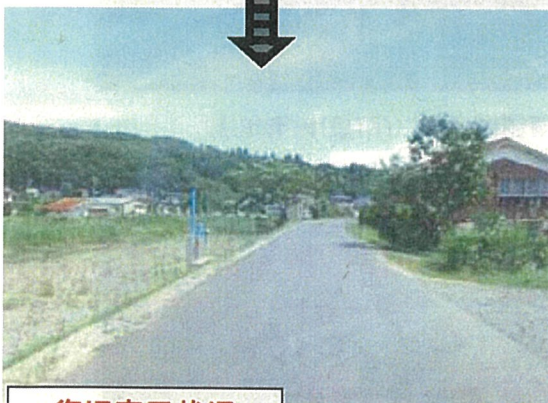
現在、県民の安心・安全の確保に向けて、被災箇所の早期復旧に取り組んでおり、平成19年7月末現在で、復旧の進捗率は70%程度まで達成している状況です。

2. 復旧完了箇所の紹介

一級河川夏井川（久慈市）

被災状況

豪雨による災害



復旧完了状況

一般県道花巻田瀬線（花巻市）

被災状況

異常低温による災害(凍上災害)



復旧完了状況

残る被災箇所についても、早期復旧に向けて取り組んでいます。復旧工事に当たっては、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 18 年度末の汚水処理人口普及率がまとまりました。その結果、**岩手県は 67. 3%**、対前年度比 2.5 ポイント増となりましたが、**普及率は全国で第 34 位、東北では第 4 位**と、全国では依然として立ち遅れている状況にあります。

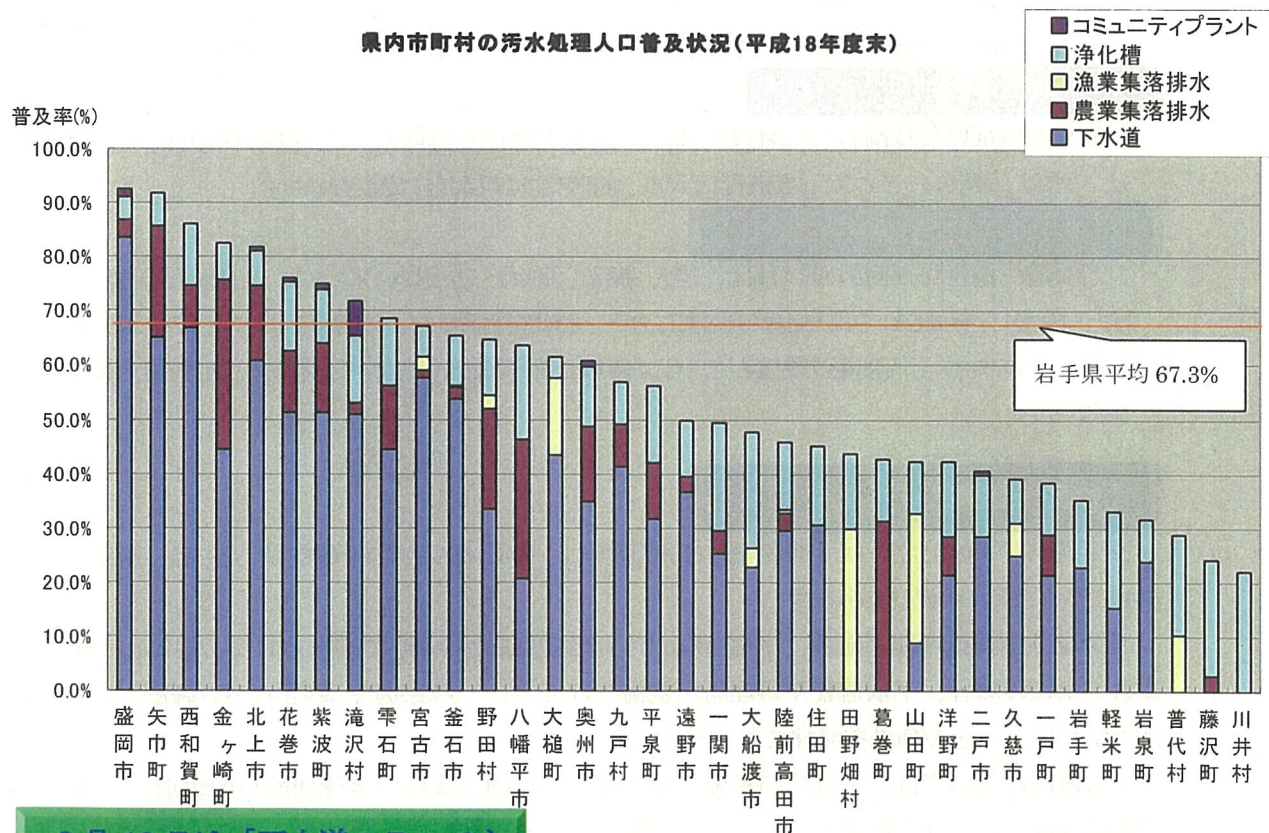
本県では、平成 18 年度末現在、人口 137 万 7,666 人（住民基本台帳人口）のうち、92 万 6,911 人の方が、汚水処理施設を使える状況です。市町村別では、最も整備が進んでいる市町村は盛岡市の 92.6%で、次いで矢巾町 91.7%、西和賀町 85.9%、金ヶ崎町 82.4%、北上市 81.6%の順となっています。

汚水処理といっても方法は様々あり、下水道人口普及率が 48.1%、農業集落排水人口普及率が 6.9%、漁業集落排水人口普及率が 1.1%、浄化槽人口普及率が 10.4%です。

また、汚水処理ができる中で水洗化（接続）が済んでいる割合は、汚水処理全体の 84.4%です。

汚水処理人口普及率は 18 年度末計画 68.6%に対し、実績 67.3%と若干計画を下回りました。平成 22 年度 80%の目標達成に向けて、コスト縮減を含めた様々な対策に取り組んでいきます。

県内市町村の汚水処理人口普及状況（平成18年度末）



9月10日は「下水道の日」です

多くの人に下水道のことをもっと良く知ってもらうために「下水道の日」を定め、毎年全国各地で様々なイベントを行っています。

財団法人岩手県下水道公社では、9月8日（土）都南浄化センター（盛岡市東見前3-10-2）において、「下水道フェスタ'07」を開催します。

下水処理場の見学会やスタンプラリー、記念品プレゼントなど趣向を凝らしたイベントを用意し、皆様のお越しをお待ちしております。

【<http://www.isf.or.jp/festa/festa.htm>】



下水道の役割

9月10日は「下水道の日」です。普段何気なく使っている下水道ですが、快適で衛生的な居住環境をもたらすだけでなく、川や海、湖沼などの水質を守るため、なくてはならない存在です。

1 街をきれいにする

下水道の重要な役割の一つ目は、汚水を処理して快適で衛生的な生活が営めるようにすること。私たちが毎日の生活で使った水やし尿を「汚水」といいます。

汚水は下水道管を流れ、下水処理場に集められて浄化されます。下水道の整備により汚れた水が溜まらず、蚊やハエなどの害虫や悪臭の発生を防ぎ、街を清潔に保ちます。

2 トイレの水洗化と生活排水の処理

下水道の重要な役割の二つ目は、トイレが水洗になることで、家の中で嫌な臭いがなくなり、快適な生活が送れます。

また、台所や浴室などからの汚水も下水道に流せて、街が清潔になります。

3 浸水から守る

下水道の重要な役割の三つ目は、降った雨をすばやく排除して、浸水から街を守ること。雨は「雨水」として下水道管に入り、速やかに川などに流されます。

4 きれいな水辺をつくる

下水道の重要な役割の四つ目は、川、湖沼、海などをきれいにして、生態系を守ること。「汚水」を浄化して川や海に戻すことで、水質を保全し、水環境をよみがえらせる働きをしています。下水道の整備とともに汚れた川がきれいになり、本来の生態系が復活します。

下水道へ接続しましょう

岩手県の下水道を含めた汚水処理人口普及率は、平成18年度末現在67.3%で、全国第34位とまだ低い状況にあります。

下水道や農業集落排水施設、浄化槽など汚水処理施設が各地で整備されていますが、特に下水道の場合、下水道管や処理場が整備されても、一般家庭や事業所から接続していただかないと、その効果を発揮できません。

下水道法においては、下水管が整備された後3年以内に接続（水洗便所への改造）することが義務付けられています。下水道の重要な役割を理解していただき、接続への積極的な協力をお願いします。

また、下水道に接続した後も、下水道管や処理場に大きな負荷をかけずに、効果を最大限に発揮させるために、次のとおりご家庭でもご協力ください。

正しい下水道の使い方



その1

流しには、ろ紙袋をかぶせた三角コーナーなどをつけ、調理くずや食べ残しを流さないようにしましょう。

その2

米のとぎ汁も植木や畑の散水に利用しましょう。



その3

野菜くずや食べカスはゴミにして出すか、埋めて土に戻しましょう。肥料としても有効です。

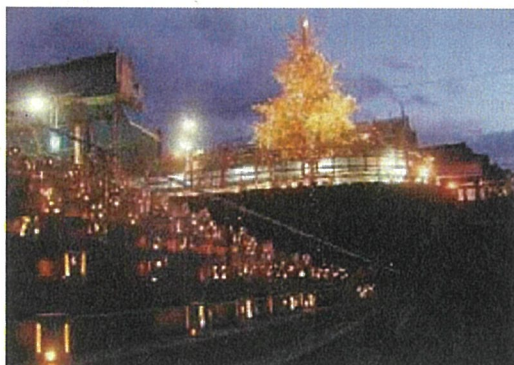
その4

洗剤、石けんなどはリンを含まないものを使用し、決められた量をはかって使いましょう。



その5

使い古しのテンブラ油は、下水に流さず、古新聞などに吸い込ませてゴミとして出すようにしましょう。



大堰川夢灯りイベント（花巻市）



山口川浸水対策事業（宮古市）

後川再生支援プロジェクト

1 何のために

花巻市内を流れる後川においては、家庭からの生活排水等により水質の悪化が著しいことから、**地域住民と行政とNPOとの協働**により水質改善に取り組み、さらに**地域の魅力の再発見と地域コミュニティの活性化**を目指して、「後川再生支援プロジェクト」を立ち上げました。

2 引き金は

プロジェクト発足のきっかけは、平成15年度に後川で「**水辺環境再生事業**」の住民等懇談会を開催したところ、地元住民代表から親水護岸を整備する前提として**水質改善が不可欠**であるとの意見が多く出され、かつ地域住民と行政との協働による**取り組みの必要性**について共通認識を持ったことによります。



3 県の取り組み姿勢

この目的の実現に向けて、県では3つの基本的な取り組み姿勢を掲げました。

- **グラウンドワーク**（＝行政主体ではなく、住民、企業、行政の3者が協力して、地域の環境を改善していく手法）という考え方を導入し、**住民主体の取り組み**を支援していく。
- **市との水平パートナーシップ**のもと、市、県及びNPOで組織する「**後川再生支援プロジェクトチーム**」により、積極的に住民活動を支援していく。
- 住民と行政を結び、地域づくりをミッションとする**NPOとの協働**を図る。



4 どう進める



県の**地域政策推進費事業**で採択された「水環境と暮らし再生支援事業（総事業費約8百万円、H16～18）」を活用し、「NPOグラウンドワークいわて」へ事業を委託し、取り組みを展開しました。（次のページ）

また、これに加えて、水源の多くを農業用水に依存している後川の水量確保のため、豊沢川土地改良区、県及び市との間で負担協定を結び、同事業により**導水対策工事**（県及び市各負担6,000千円、コンクリート水路の設置）を実施しました。

5 取り組みのようす

まず、活動母体となる「**後川に清流をとりもどす会**」の設立(H17.8.9)に向けた取り組みから始め、設立以降は会の**自主的な実践活動をバックアップ**してきました。

主な取り組みとしては、平成 16 年度は課題抽出のための**ワークショップ**開催、プロジェクトチーム会議の開催等、平成 17 年度は設立総会(H17.8.9)、花巻及び桜台小学校の**総合学習支援、清掃活動**、広報活動

(後川だよりの発行、**HP開設** (<http://www.ushirokawa.com>))、**先進地視察**(大船渡市・須崎川)、**フォーラム**開催等、平成 18 年度は清掃活動、総合学習支援、**中上流調査**、中間及び最終活動報告会等を実施しました。なお、前述の導水対策工事の関連では、会、改良区及び市の 3 者間で**アドプト協定を締結**(H19.5.31)し、19 年度から会による後川上流部の水路巡視を始める予定です。



ワークショップ



清掃活動

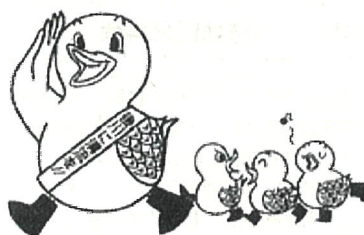


総合学習



清流化フォーラム

6 会の特徴



会のマスコット

会は、より継続的な活動を目指すため、個人の自由な参加に基づく**ゆるやかな集まり**としており、現在、役員 3 名、世話人 22 名、事務局員 3 名(1 名は NPO)、**賛同者約 70 名**という構成メンバーとなっています。そして、効率的な会運営を図るため、その目的に応じて「**清掃活動イベント検討部会**」「**環境美化水質改善部会**」「**歴史研究部会**」を組織し、前述のような多くの実践活動を繰り広げています。

7 活動のできばえ

このような活動の結果、プロジェクト事業として多くの成果を収めることができました。

- NPO の橋渡しによる、行政の押し付けではない**住民主体での取り組み**が実現できたこと。
- 会をはじめ NPO、自治会、地域住民、小学校及び改良区など**多様な主体による様々な実践活動**の展開がなされたこと。
- プロジェクトチーム活動を通じて市との**水平パートナーシップ**をより深められたこと。
- 住民アンケート調査への協力等など教育機関(**岩手大学**)との**新たな連携**が生まれたこと。

8 これから

河川環境管理財団で運営する河川整備基金助成事業の採択など資金面も含めて**会の自立**がなされ、これからまさに、NPO を含め会との対等な立場による**本格的な住民協働の取り組み**が始まり、行政の役割も「**サポーターからパートナーへ**」とシフトしていきます。

また、さらなるステップアップとして、今後も実践活動を通じた情報発信を行ない、**周辺地域への活動の広まり**へとつなげていきたいと考えています。



『森と湖に親しむ旬間』イベント開催！



「森と湖に親しむ旬間」岩手県実行委員会各分科会・河川課

今年も県内各地のダム周辺で「森と湖に親しむ旬間」の関連イベントが開催されました。どの会場も、梅雨時にもかかわらず好天に恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。県営6ダムについて、その様子をお知らせします。

綱取ダム「森と湖in綱取」2007！平成19年7月25日（水）盛岡地区分科会



当日は梅雨の間の晴天に恵まれ、真夏の暑さになりました。
参加人数は昨年より多く、子供から大人まで森林浴や親水イベントを大いに満喫しました！

←写真は魚のつかみ取りの様子

滝ダム「長内川川まつり」平成19年8月5日（日）久慈地区分科会



昨年から長内川川の会（市民団体）と共催しており、官民がお互いの持ち味を活かし多種のイベントを開催しました。
参加人数も昨年度より大幅にアップ！
子供たちは、川で遊び、自然との親しみを大いに楽しんでいました。

←写真はモーターボートによるダム湖パトロールの様子

入畑ダム「遊・YOU・入畑・2007」平成19年7月28日（土）北上地区分科会



好天に恵まれ、家族連れを中心に賑わいました。
どのイベントも好評で、その後のアンケートには「とても楽しかった！」とのコメントが寄せられました。

←写真は子供たちで賑わった巣箱・キーホルダー製作の様子

早池峰ダム「第15回森と湖に親しむ子どもまつり」平成19年8月2日(木)花巻地区分科会



朝から晴天に恵まれ、8つのイベントが行われました。
魚のつかみ取りでは、子供たちがずぶ濡れになりながら魚を追いかけて「捕ったぞー!」との歓声をあげていました。
参加者は、さまざまなイベントに参加する事により、ダムに対する理解が深めていました。
「来年も参加したい!」との声にスタッフ一同、疲れも和らぎました。
←写真は、開会式後に全員集合して記念撮影している様子

日向ダム 「日向ダム湖畔の集い」 平成19年7月22日(日) 釜石地区分科会



明け方まで降り続いた雨により、オープニングセレモニーの参加者はまばらでしたが、昼近くからは、一転、真夏の空模様となり、絶好のイベント日和になりました。
参加者は思い思いに湖畔のひとときを楽しみました。
来年度は新たなイベントにも取り組みたいと思います。

←写真はダム湖畔ウォッチングの様子

鷹生ダム 「第1回五葉湖畔の集い」 平成19年7月22日(日) 大船渡地区分科会



当日の朝まで降り続いた雨により一部のイベントは中止しましたが、その後は好転し、参加者はボート乗船体験など各種のイベントを楽しみました。
昨年までの綾里川ダムから鷹生ダムに会場を移しての初めてイベントであり、新しいダムに対する理解も深まったようです。

←写真は五葉湖一周約4kmタイムショックマラソンの様子。雨もあがって曇り空、マラソンには絶好のコンディション!

※「森と湖に親しむ旬間」(7月21日～31日)とは?

森林や湖に親しむことによって心と体をリフレッシュしながら、治山、治水及び水資源としての森林整備やダム、河川等の重要性について広く学んでもらおうとするものです。

旬間中とその前後には全国各地でいろいろなイベントが開催されています。

早池峰ダムは大にぎわい

ピックアップ
森と湖

花巻総合支局

今年で15回を数える「森と湖に親しむ子どもまつり」は、これまでで最高の172人の参加者を記録しました！（8月2日）



ダム管理所右岸側で参加者の記念撮影

晴天に恵まれ、参加者は汗をぬぐいながら、体験や見学を通じて、ダムや森林の役割や目的を学びました。

参加費は無料。今年は最高の参加者を記録し、事務局はうれしい悲鳴と、きびしい予算でのやり繰りに四苦八苦しました。

湖面パトロールやカヌー体験は涼しいため人気でしたが、一番人気はやはり「魚のつかみ取り」、アッと言う間に服がずぶ濡れになりながら、大物を狙っていました。小学校高学年の部、中学年の部、低学年の部、幼児の部に分けて行い、最後は参加者全員で池に入り魚をつかみ取りしました。

軍手をして魚をつかむなどコツがあるらしく、10匹以上のヤマメがビニール袋に入っている子供が相当いました。

最後の締めくくりは、無料でふるまわれた美味しいと評判の豚汁・ジュースと各自持参した弁当で昼食をとり、家族・友人たちは満腹、各イベントに満足した様子でした。

子供たちからもらった「来年も参加したい」の声は、スタッフにとって、とてもうれしい言葉でした。

イベント

ダム堤体内見学 発電所見学 ウォークラリー 湖面パトロール
カヌー体験 木工細工教室 魚のつかみ取り（イワナ・ヤマメ 1,300匹）
稚魚放流（イワナ・ヤマメの稚魚 1,350匹）

8月10日「道の日」イベントが県内各地で行われました！！ Part 1

道路は国民生活に欠くことのできない基本的な社会資本ですが、あまりに身近な存在のため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、8月の「道路ふれあい月間」、8月10日の「道の日」を中心に、道路の役割や大切さを見直すためのイベントが各地で行われました。9月号・10月号の2回シリーズ！

◆ 「道の日」道路清掃

～ 盛岡地方振興局土木部 ～

土木部ほか職員計約50名で「道路きれいにし隊」を結成し、管内の道路清掃活動を行いました。



◆ 道路清掃

～ 盛岡地方振興局土木部岩手出張所 ～

岩手県建設業協会盛岡支部と八幡平市建設協同組合に御協力いただき、32社223名と職員15名が参加し、ゴミ拾いなどの道路清掃活動を行いました。



◆ バリア点検・撤去

～ 花巻総合支局土木部 ～

JR花巻駅周辺等市内中心部の県道で「バリア（施設損傷や汚損、交通障害物等）の点検・撤去」を行いました。



◆ クリーンロード作戦

～ 県南広域振興局土木部 ～

建設業協会水沢支部青年会と職員計48名で「クリーンロード作戦」を実施しました。今年は、一関総合支局、奥州市と連携し平泉文化遺産周辺の道路を中心に清掃しました。



◆ 第7回「黄金ロードふれあい作戦」

～ 一関総合支局土木部 ～

岩手県建設業協会一関支部と一関市、平泉町とともに「平泉町の世界遺産への^{のぼり}」を立てて、平泉文化遺産コアゾーン内と管内道路の清掃を実施しました。



◆ 道の日 in 宮古 (街頭パレード)

～ 宮古地方振興局土木部 ～

午前10時から約1時間、宮古道路をまもる会主催のパレードに参加しました。約300名により市内約2kmをパレード実施し、道路に対する市民の理解と協力を呼びかけました。



ピックアップ道の日として、P15に「気仙歴史の道を歩いてみよう」を掲載中。

10月号では、宮古、久慈、二戸のイベントを特集で掲載します。

◆ 第20回旧釜石街道「仙人峠の集い」

～ 釜石地方振興局土木部 ～

今年も、釜石市（遠野市と交互に開催）の主催で「旧釜石街道仙人峠」を歩いて峠越えを行いました。

参加者は、釜石・遠野市民及び関係者を含めて257名の参加がありました。

今年は仙人峠道路が開通したことと合わせて、第20回目と区切りのよい開催となり、記念すべきイベントとなりました。



8月10日は「道の日」

気仙歴史の道を歩いてみよう

ピックアップ
道の日

～高田遠野街道～竹駒・横田の史跡を訪ねて～

大船渡地方振興局

8月10日

「道の日」を記念して、気仙地域の道路関係機関で構成する「道の日」記念行事実行委員会の主催で、「気仙歴史の道を歩いてみよう」を開催しました。

高田遠野街道は、「奥州道中」の日詰駅から、大迫・宮守駅を経由して遠野郷に入り、旧南部領と仙台領を境する赤羽峠を越えて、上有住に達したあと下有住・世田米・横田を経て高田駅に至る街道です。高田街道とも言います。今回は竹駒町竹駒神社から横田町「川の駅よこた」までの7kmを散策踏破しました。

出発式は道の駅高田松原「タピック 45」野外ステージ前で行い、地元の中里陸前高田市長から生活に密着した「道」の意義を含めたあいさつをいただいた後、スタート地点の竹駒神社に移動し、夏の日差しが照りつける中、参加者250名による歴史街道散策が始まりました。

中間地点の熊野神社の休憩場所では地元の取れたてのトマトやキュウリが振舞われました。また、到着地の「川の駅よこた」では、地元の方々が作ってくださった「ひつつみ汁」に大勢の参加が舌鼓をうちました。同地で閉会式を行い「道の日」記念行事を無事終了しました。

「道の日」記念行事をご理解のうえ参加下さいました皆様に、そして、お忙しい中散策コースの草刈や会場準備を行っていただいた地域住民方々、他関係各位に厚くお礼申し上げます。

散策コースの主な見所（陸前高田市米崎町細谷英男氏作成の資料より）

1 竹駒神社

天平6年（734年）、行基菩薩によって玉山金山が発見されたことから京都伏見稻荷大社より金山守護神として勧請後、天治元年（1124年）、平泉藤原清衡公が金色堂造営の時に玉山金山を経営し、竹駒神社を奉斎したと伝えられる。金山衰退後天明7年（1787年）に現在地に遷座し旧竹駒村の総鎮守となった。

2 熊野神社

延徳年間（1489～92年）、開祖宝珠院養源法印が紀州東牟婁郡新宮村国幣大社熊野権現を勧請し、旧横田村大田の地に当初社殿を建て「太田権現」として祀っていたが、葛西家の臣、昆野右馬允が本宿館に居城すると館内に社殿を建てて遷座した。天正18年（1590年）8月、葛西氏没落とともに以後旧横田村の鎮守として祀られてきました。

〔竹駒神社鳥居〕



〔竹駒神社 街道松〕



〔竹駒神社の境内〕



〔旧遠野街道散策〕



〔トマトときゅうりで休憩〕



〔熊野神社で休憩〕



〔ひつつみ汁を堪能〕



〔川の駅よこた〕



— 川の駅よこた —

陸前高田市横田町の気仙川と並走する国道 340 号沿いに平成 19 年 4 月 12 日オープンした陸前高田市地域資源活用総合交流促進施設。食堂や地元の野菜などを販売する産直コーナーがある。

いつもありがとうございます

道路愛護団体等に対する感謝状の贈呈式

道路環境課

8月28日

国土交通省と岩手県では、8月1日から31日までの「道路ふれあい月間」期間中に、道路交通の安全と道路の正しい利用の促進、路面・横断歩道等の清掃、路肩の除草、花壇の整備等、多年にわたり功績のあった民間の団体又は個人に対して、感謝状を贈り表彰しています。

今年度は、国土交通大臣表彰2団体、岩手県知事表彰2団体に対し感謝状の贈呈を行いました。

★ 表 彰 団 体 の 紹 介 ★

国土交通大臣表彰

◇ 前沢商工会女性部（奥州市）

部員数74名で、昭和62年から地域貢献活動として市道のポケットパークや駅にプランターを設置し、通行人やドライバーの目を楽しませているほか、日常の維持管理、周辺の清掃活動も行っています。



◇ 岩手県立藤沢高等学校（藤沢町）

平成2年から、高校総合体育大会地区予選の日程にあわせて、文化部の生徒が町内の国道、県道、町道の延長約9キロにわたってゴミ拾いを行っています。

学校統合により、当校は今年度末をもって閉校することとなりましたが、長年にわたる活動に敬意を表し、このたびの表彰となりました。

岩手県知事表彰

◇ 岩崎地区道路愛護会（北上市）

平成6年から、年3回、延べ1,576人で地区全域の県道及び市道の清掃、草刈り、砂利敷き、カーブミラーの点検及び道路パトロールと、地区の住民が一体となり、道路の維持管理と美化活動に積極的に取り組んでいます。



◇ キッチンガーデン利用組合（二戸市）

平成8年に設立された産直組合で、設立以来、組合員40人で産直周辺の側溝の清掃と草取りを行い、道路沿いに花を植え、長年にわたり産直を訪れる方やドライバーの目を楽しませてくれています。

【問い合わせ先】道路環境課（TEL：019-629-5876）

道路開通情報

一般県道北上和賀線 煤孫(すすまご)工区が部分開通

北上総合支局

● 事業の概要

一般県道北上和賀線は、一般国道 107 号の代替路線であり、秋田自動車道北上西 IC のアクセス道路としても重要な路線です。この区間は、歩道が未整備であることに加え、見通しが悪いため、歩行者・自動車共に非常に危険な状況となっていました。

平成 15 年度から着手し整備を進めてきた本事業は、地域の皆様の御理解と御協力によりまして、1.1km のバイパス区間が完成し、7 月 9 日から開通しました。

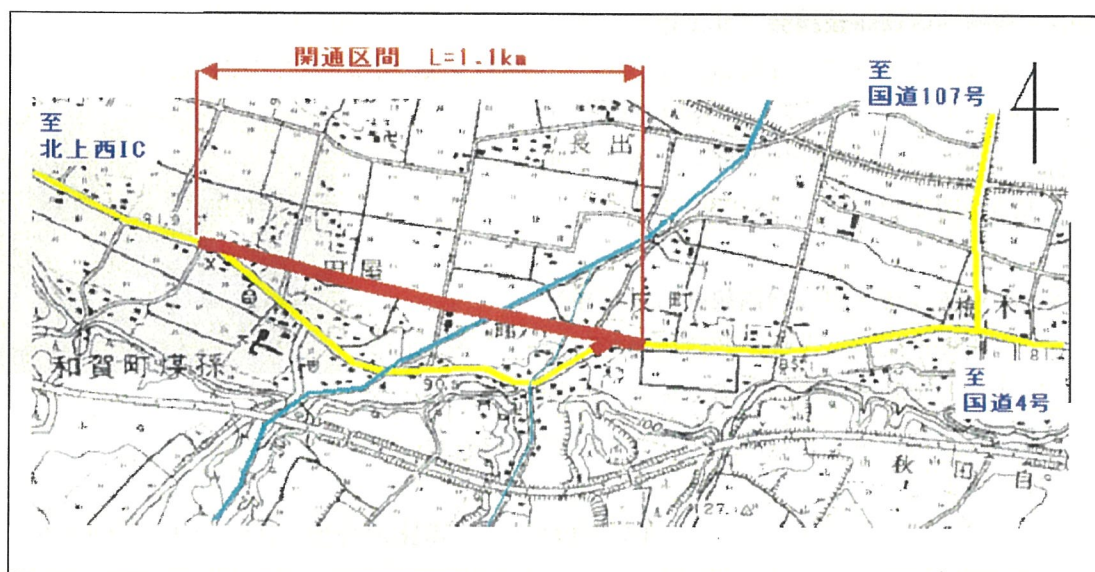


整備前



整備後

● 概略図



「第30回東北地方道路写真コンテスト入賞作品展」を開催します！

道路建設課

本コンテストは、日常の生活で私たちに最も身近な公共施設である「道路」に対する関心と理解を多くの方々に深めていただくため、「東北地方道路広報連絡会議」が、昭和 53 年度から毎年開催しており、今年で 30 回目となりました。

「東北の道路」をテーマに、道路とその役割や、人と道路の関わりを写しこんだ作品、地域の特色を生かした道路に関する写真など、平成 19 年 4 月 2 日から平成 19 年 5 月 31 日までの 2 ヶ月間の作品募集で、東北各県より、過去最多の 4,082 作品の応募がありました。



最優秀作品賞（小・中学生の部）奈良 章吾
「菜の花の道でダッシュ」（撮影：盛岡市）



最優秀作品賞（一般の部）岩木 勇紀男
「旧道の秋」（撮影：久慈市）

応募作品は、各県の予備審査会を経て、平成 19 年 7 月 4 日に開催された審査会において、入賞作品が選定されました。岩手県からも、「一般の部」「小・中学生の部」で最優秀作品賞に選ばれるなど、多くの作品が受賞しました。

受賞した全作品は、道路の広報資料として広く活用されるほか、8～10 月に東北六県で巡回展示されます。本県でも、下記のとおり 3 日間開催しますので、是非ご来場ください。

日時：平成 19 年 9 月 7 日（金）～9 日（日）

9:00～21:30（最終日は 17:00 まで）

場所：いわて県民情報交流センター・アイーナ 4F 県民プラザ

主催・問合せ先：道路建設課（TEL 019-629-5866）

※ 指定駐車場は有料となります。

※ 他県での巡回作品展は東北地方整備局HP（<http://www.thr.mlit.go.jp/>）をご覧ください。

※ 来年も同時期に開催予定です。副賞もあります。来年はあなたもぜひ応募してみてください。

お知らせ

9月22日は「いわて花巻空港スカイフェスタ2007」で遊ぼう

花巻空港事務所

「いわて花巻空港スカイフェスタ2007」では、空港の一部を一般開放してイベントを開催します。当日は、迫力あるアクロバット飛行や防災航空隊による救助デモンストレーションなどプロの技を満喫できるイベントのほか、バスでの滑走路走行など普段は体験することができない楽しいイベントが盛りだくさんです。

- 日時／平成19年9月22日（土）10：00～15：30（小雨決行）
- 会場／いわて花巻空港内特設会場
- 入場料／無料
- 主なイベント
アクロバット飛行、防災ヘリ救助デモンストレーション、遊覧飛行（有料）、
大型化学消防車との綱引き、鹿踊り、各種屋台、
クイズ回答者への粗品プレゼント（回答者の中から抽選で1名に宿泊付往復航空券ペア1組プレゼント）
など

たくさんのご来場を
お待ちしております



大型化学消防車との綱引き



アクロバット飛行でプロの技を堪能

カスリン・アイオン台風 60 年事業開催中！

河川課

昭和22年9月のカスリン台風、昭和23年のアイオン台風により、北上川とその支川が氾濫し、岩手県内は2年連続の大水害に見舞われました。今年カスリン台風から60年の節目の年を迎えるにあたり、当時の水害を風化させず後世に伝え、災害に強い地域づくりを考える機会とするため、60年事業を実施しています。

カスリン・アイオン台風60年治水大会

9月15日（土）13：00～17：00 ベリーノホテル一関

とうほく★地域を守る防災コンテスト2007

9月16日（日）10：00～14：00（予定） 一関文化センター

市民ミュージカル「今伝えよう一関の年輪」

9月15日（土）16日（日）14：00～16：00 一関文化センター

高速道路料金割引 社会実験のお知らせ 8.20 スタート

道路建設課

社会実験の概要 岩手県(紫波IC～滝沢IC間)

今回の社会実験は平成 18 年 12 月に閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する具体策」において高速道路料金の引き下げなどによる既存高速ネットワークの効率的活用・機能強化のための新たな措置を講ずることとされたのを受けて実施するものです。

盛岡都市圏における実験では、地域が抱える課題（一般道の慢性的な渋滞等）を解消・緩和するための料金割引導入に向け、料金引下げに伴う効果と影響などの把握を行うために実施するものです。

▼高速道路の料金割引

社会実験によって平日夕方割引（平日の 15:00～17:00）を実施します。

なお、従前からの割引制度（深夜割引、通勤割引）については、継続して実施しています。



▼岩手県の高速度道路の料金割引社会実験の概要

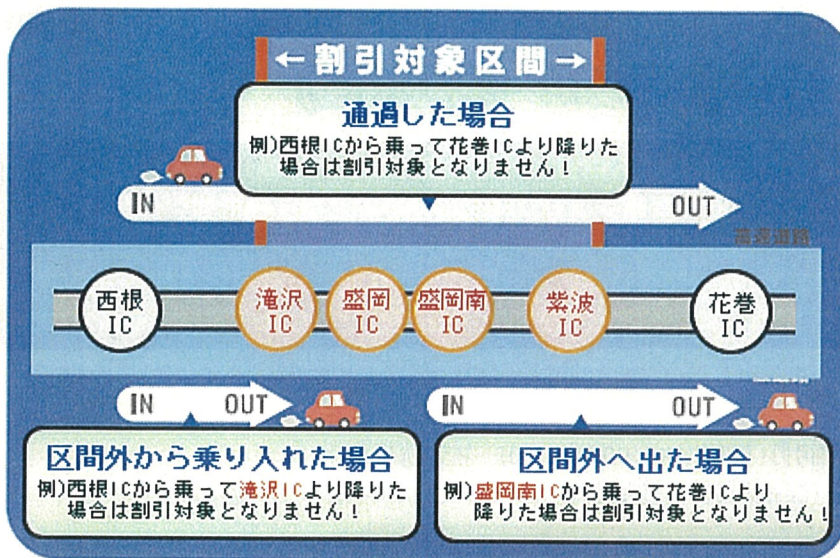
- | | |
|---------|---|
| ◆実験開始日 | 平成 19 年 8 月 20 日(月) 15:00～
※実験終了時期は、決まり次第お知らせします。 |
| ◆割引対象区間 | 紫波 IC～盛岡南 IC～盛岡 IC～滝沢 IC の区間内
※対象区間内での出入りに限る。 |
| ◆割引対象時間 | 平日（祝日を除く月～金）15:00～17:00 |
| ◆割引率 | 3 割引 |
| ◆割引適用条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ETC 車限定 ・ 入口または出口の料金所を割引対象時間内に通過 ・ 対象区間内で入って、対象区間内で出る車に限る。
(割引対象区間図を参照) |

※対象区間外のインターチェンジを利用した場合は割引対象外になります。

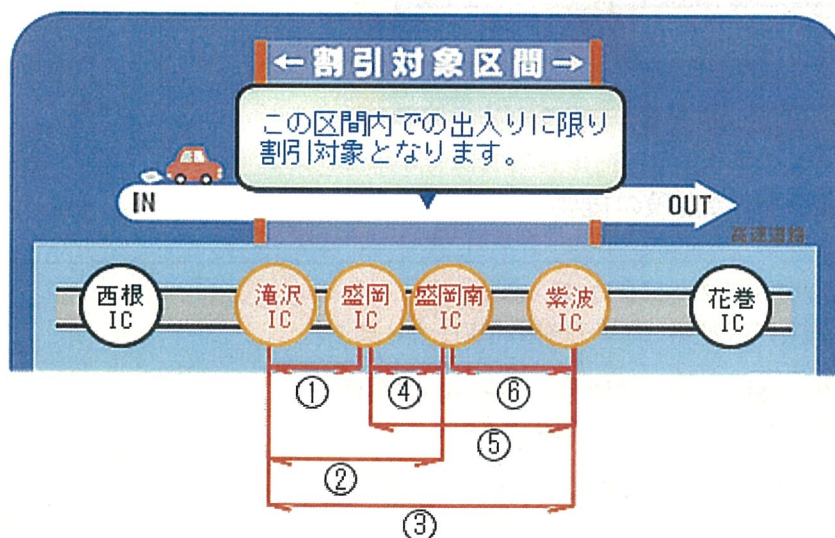
※他の時間帯割引の適用条件も満たす場合は、割引額が最も大きくなる割引が適用されます。

▼料金割引対象外

以下のように対象区間外の IC を利用した場合は、平日夕方割引が適用されません。



▼料金割引区間図



平日夕方割引の対象は以下のとおりで、滝沢 IC～紫波 IC 間の中での出入りに限ります。

対象は、午後 3 時から午後 5 時までの間に、入口または出口の料金所を ETC 無線通信により通過する車両です。

割引対象区間リスト

①	滝沢 IC～盛岡 IC
②	滝沢 IC～盛岡南 IC
③	滝沢 IC～紫波 IC
④	盛岡 IC～盛岡南 IC
⑤	盛岡 IC～紫波 IC
⑥	盛岡南 IC～紫波 IC

割引適用区間料金表

盛岡 IC		盛岡南 IC		紫波 IC		
通常	割引後	通常	割引後	通常	割引後	
400	① 300	600	② 400	900	③ 650	滝沢 IC
450	300	700	④ 500	1050	⑤ 750	
		350	④ 250	600	⑤ 400	盛岡 IC
		350	④ 250	700	⑤ 500	
				450	⑥ 300	盛岡南 IC
				500	⑥ 350	